



取扱説明書



## もくじ

製品の構成	.....3
<u>安全にお使いいただくために</u>	.....3
**必ずお読みください**	
<u>各部の名称と機能</u>	
前面、後面	.....4
左側面	.....4
<u>特徴</u>	.....5
<u>仕様</u>	.....5
<u>使用方法</u>	
使用前の準備	.....5-6
水素吸入の手順	.....6-7
精製水の補給	.....8
精製水の排水	.....8
各種アラーム	.....8
<u>保証規定と保証書</u>	.....11

## 製品の構成

同梱物をご確認ください。



- 水素吸入器本体
- 取扱説明書



- 精製水



- ACアダプター



- 鼻カニューラ

\* 付属の精製水を使い切った時は、ドラッグストアなどでご購入ください。

※ 精製水とは、蒸留や濾過やイオン交換などの手法で濃度を上げた比較的純粋な水（無色透明、無味無臭）です。ミネラルウォーターや浄水器生成水とは異なりますのでご注意ください。

## 安全にお使いいただくために

小さなお子様の手の届かない場所で管理してください。誤った使用方法による事故に関しては、当社では責任を負いかねます。

- ◆ 水素ガスを保存容器等に溜めないでください。
- ◆ 火の近くや発火しやすい環境下での使用は行わないでください。
- ◆ 付属のACアダプター（定格DC12V / 4.17A）を使用してください。
- ◆ 精製水以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ◆ 水素ガスは自然呼吸に合わせて吸入してください。強引に吸入すると故障の原因となります。
- ◆ 鼻カニューラのチューブに結露などで水が入った場合は内部の水を抜いてください。
- ◆ 水などが直接かかる場所や風呂場などの湿気の多い場所での使用は行わないでください。
- ◆ 直射日光の当たる場所や高温になるところ（車内など）での保管や使用は避けてください。
- ◆ 製品は平坦な場所でご使用ください。
- ◆ 機器に水が入っている状態での移動、輸送は行わないでください。水漏れします。
- ◆ ご使用の前には必ず取扱説明書をお読みください。
- ◆ 化学物質過敏症（アレルギー）の方は使用にご注意ください。

## 各部の名称と機能

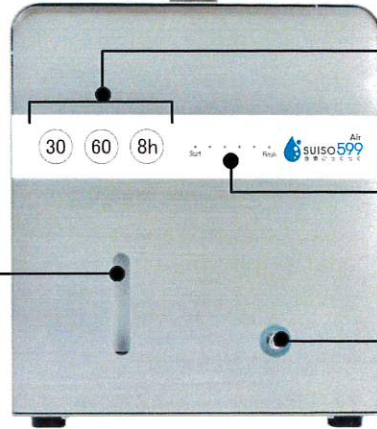
### 前面

#### タンク水量表示窓

給水タンクの水量と水素ガスが出ていることが確認できます

#### スタートボタン

水素吸入を開始します、ボタン毎に設定された時間動作します



#### 残時間表示ランプ

タイマーの残時間を表示します

#### カニューラ接続口

カニューラを接続します

### 背面

#### 主電源

長時間使用しないときなどOFFにします

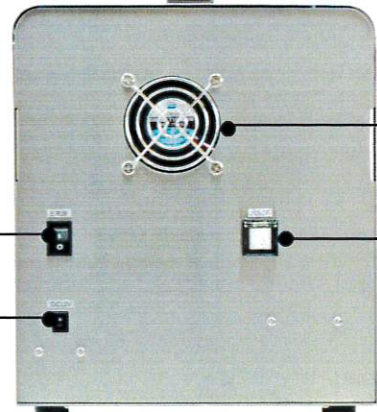
#### ファン

#### DCジャック

ACアダプタを接続します

#### バルブスイッチ

給水または排水のときオンにします



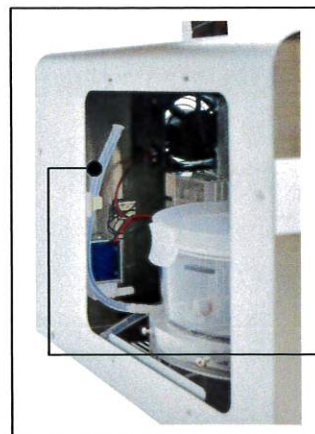
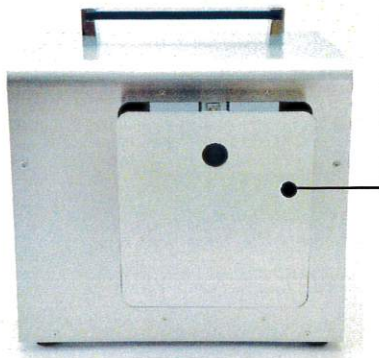
### ドア

給水、排水時に開けます。穴に指を入れ引くと外れます

### 左側面

### 給水タンク

電気分解のための精製水を入れるタンクです



※ケース裏側の写真です



#### 排水チューブ

機器内の水を排水するチューブです(ケース裏側に固定されています)

## 特徴

- ◆ 精製水と電源さえあれば、どこでも水素ガスを発生することができます。
- ◆ 発生するガスは水素濃度が約4%で安全性が高いです。
- ◆ 本機器で水素を1時間吸入すると、一般的な水素水(1.0ppm)500mlボトル324本分の水素が発生します。
- ◆ タンク水量表示窓の気泡で水素が発生していることを目で確認できます。

## 仕様

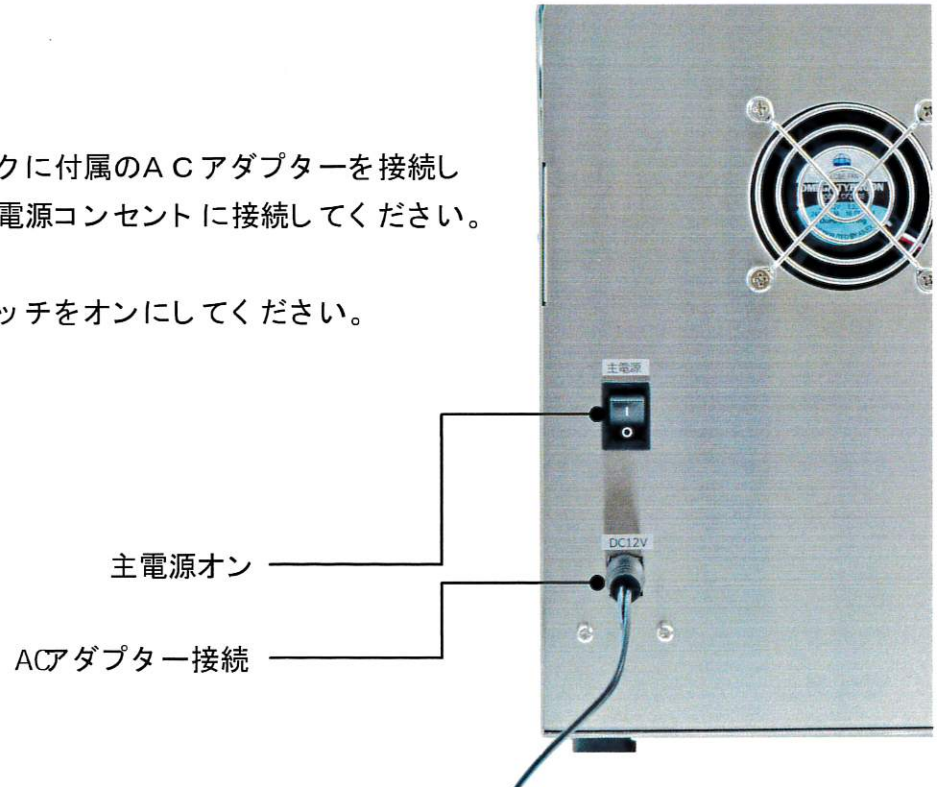
方式	:電気分解式小型水素ガス発生装置
電源	:付属ACアダプター(入力AC100V/出力DC12V)
外形寸法	:W210mm×D265mm×H270mm(把手、足含む)
本体質量	:約4.8kg(精製水含まず)
消費電力	:約45W
ガス発生量	:750ml/min
水素濃度	:約4%
使用水	:精製水
使用環境温度	:+5～+35℃

## 使用方法

### 1. 使用前の準備

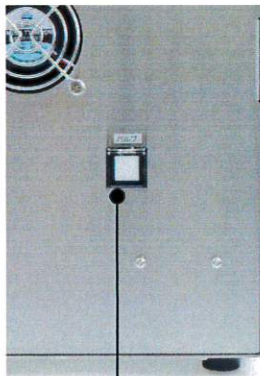
#### 1.1 電源

- ・ 後面のDCジャックに付属のACアダプターを接続しACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- ・ 後面の主電源スイッチをオンにしてください。

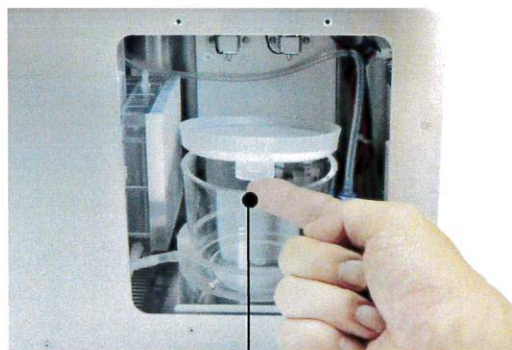


#### 1.2 給水

- ・ ACアダプターを接続し、主電源オンの状態で本体後面のバルブスイッチをオンにしてください。
- ・ 給水タンクの蓋を開け、精製水を入れます。上限ラインを超えないようにしてください。
- ・ 精製水を入れたら給水タンクのふたを閉じ、1分程度待ったあとバルブスイッチをオフにしてください。



バルブスイッチ  
 (透明な蓋を開けて  
 操作してください)  
 スイッチは奥に押し込  
 まれた状態がオンです。



写真のように蓋のレバーを上  
 げて開けてください。



上限ライン  
 精製水はこのラインを超えないよ  
 うにしてください。

## 2 水素吸入の手順

### 2.1 電源

- 後面のDCジャックに付属のACアダプターが接続されていることを確認してください。
- 後面の主電源スイッチをオンにしてください。  
前面のタンク水量表示窓が青く光り、本体の電源が入ります。

### 2.2 鼻カニューラを機器前面カニューラ接続口に接続し、 鼻孔に装着してください。

カニューラを接続



### 2.3 水素吸入

- 前面の3つのスタートボタンの中で吸入したい時間のボタンを押してください。
- ※ 8時間設定の場合は、おおよそ1時間に一回水素と酸素の水位調整のため、「カチッ」と音が鳴り10秒間調整の後「パチッ」と音が鳴り再起動が行われます。その間、気泡が出ませんのでご注意ください。

カニューラ接続口が青く光り、水素ガスが出力されます。

- \* 前面のタンク水量表示窓で水素ガスが発生していることを気泡で確認できます。
- \* 泡の大きさや出方が異なる場合がございます。



残時間表示ランプが全部消えると水素ガスの出力は自動でストップします。

- スタートボタンのいずれかをピーと音がするまで長押しすると、水素ガスの出力を強制的にストップすることができます

#### 4 精製水の補給

- ・タンク水量表示窓の水が窓最下部まで減った時は、“1 使用前の準備”と同様の手順で給水タンクに精製水を補給してください。

タンク水量確認窓最下部まで水が減ってしまうと水素の気泡が確認できなくなりますが、水素は発生しています。

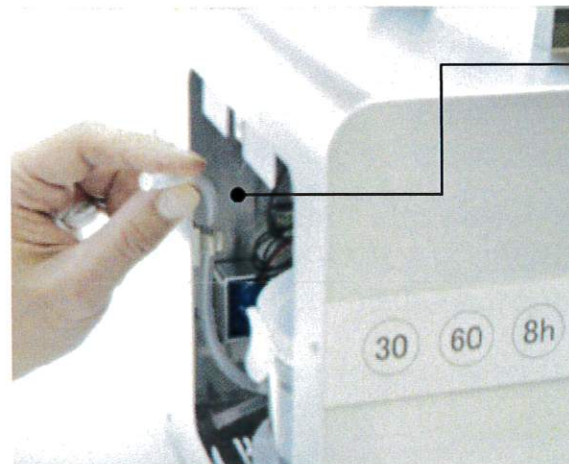
この窓から水が見えなくなった時には精製水を補給してください



#### 5 精製水の排水

- ・機器を輸送する時、長期間使用しない時などは機器内の精製水を下記の手順に従って排水してください。

- ① “1 使用前の準備”と同様の手順でバルブスイッチをオンにする。
- ② 排水チューブ先端のキャップを外す。
- ③ 精製水の空き容器等の容器に排水する。



ホルダーのロックを外し排水チューブを取り出す

チューブ先端のキャップを引き抜き、容器に排水する





## 6 各種アラーム

### ・転倒監視

主電源がオンの状態で本装置を傾斜させたり振動を与えたりすると、全電源が停止して水素吸入ができなくなります。再起動のためには一度主電源スイッチをオフにし、再度オンにしてください。

### ・電極寿命

電気分解槽の電極には寿命があります。寿命に達すると残時間表示ランプが点滅して「ピピッ、ピピッ」とブザー音が鳴り、5分後に機器の電源が切れます。

精製水の量が十分あるにも関わらずこの状態になりましたら、販売店に電極交換をご依頼ください。

メモ

## 保証規定と保証書

### 保証規定

1. 保証期間はご購入後1年間です。
2. 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
3. 取扱説明書の注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合に無償修理をいたします。
4. 無償修理を受けられるときは、本保証書をご提示のうえ、販売店までご依頼ください。
5. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
  - ① 誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
  - ② 保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
  - ③ 火災、地震、水害、落雷など天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
  - ④ 弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
  - ⑤ 本保証書の提示がない場合。
  - ⑥ 消耗品のお取替えの場合。

### 品質保証書

このたびは、ご購入いただきありがとうございます。  
 商品は、厳重な品質検査を行っておりますが、万が一、通常のご使用において不具合が発生いたしました場合は、ご購入より1年間、無償修理を致します。  
 下記の販売店へ本保証書をご提示の上修理をご依頼ください。

商品名	水素ごっくく Air
型番	SWE-SGA-7
製品No.	
ご芳名	
ご住所	
TEL	( )
ご購入年月日	
販売店名	

印

株式会社 翔栄ウエルネス